

令和3年度 第2回 木更津市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日時・場所	令和4年3月17日（木）午後3時～3時45分 木更津市役所 朝日庁舎（会議室E）
出席者	【委員】中村和人（会長）・橋詰清・星田麻由美・飯塚ゆう子・池野百合子・及川貴子・小山百合子 【事務局】鈴木福祉部長 高齢者福祉課：中原課長・金網課長補佐 高齢者福祉課（地域包括ケア係）：星野係長・手島主事 木更津市地域包括支援センター管理者 大川（中部）・金子（西部）・佐々木（南部）・本吉（北部）・鳥澤（富来田）
傍聴人	1人
議題	議題1 令和2年度地域包括支援センターの事業評価について 議題2 令和4年度地域包括支援センターの運営方針について
議事の内容	<p><b>議題1 令和2年度地域包括支援センターの事業評価について</b></p> <p>事務局説明：国で策定した全国統一の評価指標を通じ、地域包括支援センターの取り組みの確認や課題を把握して、地域包括支援センターの適切な人員体制の確保や業務の重点化等の検討をしようとするもので、今回が4回目の実施となる。全体的に各センターともバランスがとれてきているものの、共通事項としては、引き続き「2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援」に関する取組指標が全国平均より低い傾向にあるため、対応策として、地域における関係者との連携・協働の体制づくりを更に強化するとともに、個々の介護支援専門員に対する支援については、担当圏域における居宅介護支援事業所の情報を市からセンターへ提供し、特に、特定事業所加算算定事業所とセンターの連携も図ることにより、支援困難事例への対応力を強化していきたいと考えている。</p> <p>小山委員 2年連続で「包括的・継続的ケアマネジメント支援」の指標が全国平均より低い原因について、どう考えているか。</p> <p>事務局 事業評価を当初は評価ツールとして使いこなせておらず、3回目・4回目でやっと本来の傾向が出るようになり分析に至るようになった経緯がある。3回目の実施において共通して全国平均より低かったケアマネジメント関係の指標のうち、前回までの取組みにより「介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」は全国平均に並みになってきたため、残る「包括的・継続的ケアマネジメント支援」について、今回、対応策を検討したものだ。</p> <p>星田委員 特に、西部地域包括支援センターがケアマネジャーと連携がとれていない状況だとは感じていないのに、取組状況が低い理由は、</p> <p>金子管理者 具体的な例を挙げると、「居宅介護支援事業所の把握」の指標については、</p>

	<p>ある程度は把握していたが、主任ケアマネジャー等の人数内訳までは把握できていなかった。今後は、定期的に市から居宅介護支援事業所のデータ提供を受け、把握・改善に取り組んでいくことにした。また、ケアマネジャーの課題を検討する場として、木更津市在宅医療・介護連携推進協議会の社会福祉・生活支援部会で協議することによって、指標を満たすものとして改善につながっていくと考えている。</p> <p><u>審議結果：承認</u></p>
	<p><b>議題2 令和4年度地域包括支援センターの運営方針について</b></p> <p>事務局説明：地域包括支援センターの運営方針は、介護保険法に基づき、市町村が地域包括支援センター業務を委託する場合は運営方針として示すこととされている。変更点を中心に、運営方針（案）を説明。また、現在の地域包括支援センター業務委託について、各センターとも事業実施・運営に関して実績を重ね、地域住民との信頼関係も構築していることから、来年度も引き続き、同じ運営主体による委託での実施をしたいと考えている。併せてお諮りする。</p> <p>中村会長 開始して半年たつ木更津市認知症高齢者等見守りシール交付事業の実績は。</p> <p>事務局 12名の方に交付をした。</p> <p><u>審議結果：承認</u></p>
<p>報告事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木更津市認知症高齢者等見守りシール交付事業</li> <li>・木更津市高齢者タクシー利用助成事業</li> </ul> <p style="text-align: right;">会議終了</p>